

北海道新聞

2014年
7月29日
火曜日

発行所
北海道新聞社
〒060-8711 札幌市
中央区大通西3丁目6
電話011-221-2111
読者センター
011-210-5888
(日曜・祝日除く9時-18時)
ご購入申し込み
0120-464-104
365日年中



日高沖 メタンハイドレートか 2

日高沖の海底で、メタンハイドレートがある可能性を示す地質の存在が、国の調査で確認された。次世代エネルギー資源と期待される。

富良野

人手不足 道内も深刻 補充困難 業績回復足かせ

「人手が足りない」「人が集まらない」。悲鳴にも似た声が道内各地で聞かれる。求職者1人に何人分の仕事があるかを示す、道内の6月の有効求人倍率は0.79倍と6月としては過去最高となった。景気が明るさを取り戻し、積極的な採用に転じる企業や事業主が増えているためだ。だが業種によっては深刻化する人手不足が、業績回復の足かせになろうとしている。

(経済部 十亀敬介、鈴木雄二) 特集8面



留寿都村の豆畑で農作業する短期アルバイトの男性ら。毎日、札幌から1時間以上かけて通勤している

夏の強い日差しの下、後志管内留寿都村の豆畑で、「出面さん」と呼ばれる短期アルバイトの男性3人が収穫作業を進めていた。雇い主の農業福井隆さん(47)は「村内だけでの人集めは厳しい」と、人材派遣業のアスケートトラスト(札幌)を通じて募集した。3人は毎日、一緒に札幌から車で通う。農作業の未経験者もいる。それでも繁忙期を乗り切るのに欠かせない。

道外から派遣

同社が今年、道内で募集

ただ、同分室によると求人約8割は不安定な非正規雇用だ。「職を求めて移住してもらおうにも、手ごわいな家賃で住める物件が少ない(後志管内ニセコ町)という課題もある。人手不足は他の地域、業種にも広がる。道内外で回転する三ツ星レストランシステム(釧路)の谷川富成社長は「社員やパートの応募がめっきり減った」という。消費税増税にもかかわらず、同社の3～5月の売り上げは前年同期比7%増と好調だ。4月には社員

やパートの賃上げにも踏み切った。時給千円を超えるパートもいる。しかし一部店舗では客席案内のスタッフが足りない。混雑時には昼のパートに夜も勤めてもらっている。「人材確保は難しい。今の人手でも店が運営できるシステムに改善しなければ」。谷川社長は焦りを募らせる。

止まらぬ流出

安倍晋三首相の経済政策「アベノミクス」の財政出動でにわかに活気づく建設業界も人手不足が深刻だ。J